

ちびっ子鬼物語 「転校生と初恋」の巻

※登場人物

- ① トシちゃん
- ② コウちゃん
- ③ イサムちゃん(三人は笑鬼小学校の三年生です。)
- ④ キヨミちゃん(世話好きな女の子で、物語に初登場の笑鬼小学校の三年生です。)
- ⑤ 転校生のミチコちゃん(二期から転校してきた同級生です。)
- ⑥ 担任のミヤザキ先生(教育熱心で優しくみんなに慕われる先生です。)

「今回の物語は、トシちゃん達のクラスに転校生がやってくるお話です。・・転校生の名前はミチコちゃんと言います。お父さんの転勤で笑鬼小学校に転校してきました。さて、ミチコちゃんはトシちゃん達とどんな学校生活を送るのでしょうか。・・お楽しみに!」

▼教室の出入り口の戸を開ける音 ガラガラ。ガラガラ(ト)。

▼担任のミヤザキ先生(以降は、ミヤザキ先生と書きます。)(教壇に向かう足音) コッコッコ。

▼日直(その日の当番のこと) きりり。礼(おじぎをする)着席。

▼ミヤザキ先生

みなさんおはよう! : 今日から二期期がはじまります。夏休みは宿題もたくさんありました。けれど、みんな真つ黒に日焼けしているね。 : 元気で良かった。 : 二期期からお友達が一人増えました。ミチコちゃんを紹介します。 :

▼転校生のミチコちゃん(以降は、ミチコちゃんと書きます。)(ミチコです。お願いします。)

▼ミヤザキ先生 みんなもミチコちゃんが環境に早くなれるように応援してください。席はキヨミちゃん隣です。 : :



「二期期が始まり一ヶ月が経ちます。学校が終わると、トシちゃんコウちゃんイサムちゃんと女子のキヨミちゃんミチコちゃんは帰り道が同じなので一緒に帰ります。」

▼コウちゃん 僕は「」でさようなら。またあした。

▼イサムちゃん 「」でさようなら。あした学校で会いましょう。

▼キヨミちゃん ミチコちゃんトシちゃんさようなら。アタシは「」で。またあした。 :

▽トシちゃん(心の声)

最後はいつもミチコちゃんと二人になつちやうんだ。 : 今日こそは話をしたいんだけど。ミチコちゃんと二人になると緊張しちやうんだよね。

▼ミチコちゃん トシちゃん何か話さない。 : :

(心の声)トシちゃんってアタシのこと嫌いなのかな? :

▼トシちゃん ……ミ。ミチコちゃん、学校楽しい? :

▼ミチコちゃん キヨミちゃんやトシちゃん達がみんな、アタシが早く学校に慣れるように声をかけてくれたり遊んでくれたり、本当にありがと。 : ほんとよ!

▼トシちゃん 良かった。友。 : 友だちでいてください。(心の声)や。とと話せた。 :

「ミチコちゃんはトシちゃんに思いがけない話をするのでした。 : :」

▼ミチコちゃん まだだれにも話していないんだけど。 : アタシ、二期期が終わると転校するのよ。

▼トシちゃん え。ミチコちゃん転校しちゃうの。 : (心の声)ミチコちゃんに会えなくなつちやうんだ。 :

「ミチコちゃんはトシちゃんに、アタシが学校に早く慣れるように、学校への行き帰り同じ道を通う友だちを見つけてくれたり、学校の帰り道とつぜん雨が降ってきた時、自分の傘を貸してくれたことなどの思い出を話し、短い間でも親切にしてくれたことへのお礼を言うのでした。そして、トシちゃんとは良い友だちでずつといたかったことを話すのでした。」

▽トシちゃん(心の声) 僕だって、ミチコちゃんと話をしたり遊んだり、ずっとしていたかったんだよ。
▼ミチコちゃん あ。家についてやった。…トシちゃんさようなら。またあした学校で。
▼トシちゃん ミチコちゃんさようなら。(心の声)今日はミチコちゃんと初めて話ができた。…でもミチコちゃんは転校しちゃうんだよねあ。…

「早いもので、今日は二期期の終業式です。…担任のミヤザキ先生が一人ひとりに通知表を渡していきます。…そして最後に、ミチコちゃんが二期期を最後に転校していくことをクラスのみんなに話すのでした。…」

▼クラスのみんなの声 ええ。…転校しちゃうんだ。四ヶ月でもうお別れなの。さみしいよ。…

「そして終業式が終わり、ミチコちゃんは、トシちゃんコウちゃんイサムちゃんキヨミちゃんと学校を後にするのでした。…そして帰り道。」

▼ミチコちゃん アタシ、笑鬼小学校には四ヶ月の短い間しかいなかったけれど、ほんとに仲良くしてくれてみんなありがとう。

▼キヨミちゃんコウちゃんイサムちゃんトシちゃん お手玉したりあや取りしたり、もっと一緒に遊びたかったね。さみしくなっちゃうな。たまにはみんなに会いに戻ってきてよ。…さみしい。

▼ミチコちゃん ほんとにありがとう。…

▼コウちゃん ミチコちゃん元気だね。じゃあ「で、さようなら」。

▼イサムちゃん ミチコちゃん健康には気をつけてね。また会える時を楽しみにしています。

▼キヨミちゃん ミチコちゃん、短い間だったけどお友達になれて良かった。…たまには会いたいね。元気でいてね。さようなら。…

「帰り道の最後は、いつものようにトシちゃんとミチコちゃんの二人になるのですでした。」

▽トシちゃん(心の声) 話すチャンスは今日しかない。勇気を出してミチコちゃんに話しかけてみよう。

▼トシちゃん ミチ。ミチ。(心の声)うまく話せない。

▼ミチコちゃん トシちゃん何か言った？…トシちゃんはいつも優しくしてくれて嬉しかったよ。

(心の声)トシちゃんにまた会いたいな。…

▽トシちゃん(心の声) ミチコちゃん、聞こえた。聞こえたよ。僕もミチコちゃんにまた会いたいな。…

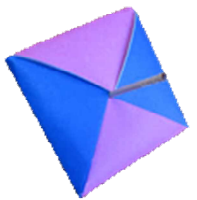
▼ミチコちゃん アタシが大きくなったら。…トシちゃんのお嫁さんになりたいな。…

▼トシちゃん え…。僕のお嫁さんに？お嫁さんになってくれるの。…ありがとう。約束だよ！…

▽トシちゃん(心の声)「ミチ」ちゃん(心の声) 早く大人になりたいな。神様願いを叶えてください。

「そして十年後。…二十歳になった二人は笑鬼小学校の同窓会で再会するのですでした。…トシちゃんとミチコちゃんの二人には、どんな将来が待っているのでしょうか？…みなさんの心の中で描いてみてください。…」

「転校生と初恋」の巻 おわり



◎ 読者の皆さん良い年をお迎えください。